

平成26年度第3四半期報告の概況について

三井生命保険株式会社（代表取締役社長 有末 真哉）の平成26年度第3四半期報告の概況につきまして、以下のとおりお知らせいたします。なお、数値の詳細は、本日付ニュースリリース「平成26年度第3四半期報告」をご覧くださいませよう、お願い申し上げます。

【契約の状況（個人保険および個人年金保険）】

- ◇ 新契約年換算保険料：外貨建個人年金保険の販売好調を主因として、前年同期比**22.4%増**の**248億円**となりました。
- ◇ 解約・失効率（年換算保険料ベース）：お客さまとのコミュニケーション強化に取り組んできた結果、前年同期から**0.16ポイント改善**の**3.33%**となりました。
- ◇ 保有契約年換算保険料：医療保障等の第三分野および個人年金保険に関しては前年度末から増加したものの、個人保険を含めた全体では解約・失効・満期等による減少が新契約を上回っており、前年度末比**0.5%減**の**5,122億円**となりました。

【主要収支の状況】

- ◇ 保険料等収入：一時払終身保険の販売減少等により、前年同期比**1.0%減**の**4,058億円**となりました。
- ◇ 基礎利益：逆ざや額および費差損益の改善により、前年同期比**2.0%増**の**433億円**となりました（最低保証に係る要因を除いた基礎利益：同**30.4%増**の**266億円**）。
- ◇ 経常利益：前年同期比**57.6%増**の**359億円**、四半期純利益は、同**93.4%増**の**161億円**となりました。

【健全性の状況】

- ◇ ソルベンシー・マージン比率：金利低下および株価上昇等によるその他有価証券の含み益の増加を主因として、前年度末から**126.9ポイント上昇**し、**775.4%**となりました。
- ◇ 実質純資産額：金利低下および株価上昇等による有価証券全体の含み益の増加を主因として、前年度末から**2,746億円増加**し、**9,842億円**となりました。

1. 契約の状況〔個人保険＋個人年金保険〕

(単位:億円、%)

区 分	平成25年度 第3四半期累計期間	平成26年度 第3四半期累計期間	前年同期比
			増減率
新契約年換算保険料	202	248	+ 22.4

(単位:億円、%)

区 分	平成25年度 第3四半期累計期間	平成26年度 第3四半期累計期間	前年同期比
			増減率
解約・失効年換算保険料	170	156	▲ 8.0
解約・失効率〔年換算保険料ベース〕	3.49	3.33	0.16 ポイント改善

(単位:億円、%)

区 分	平成25年度末	平成26年度 第3四半期会計期間末	前年度末比
			増減率
保有契約年換算保険料	5,149	5,122	▲ 0.5

2. 主要収支の状況

(単位:億円、%)

区 分	平成25年度 第3四半期累計期間	平成26年度 第3四半期累計期間	前年同期比
			増減率
基礎収益	5,899	5,627	▲ 4.6
うち保険料等収入	4,097	4,058	▲ 1.0
基礎費用	5,474	5,193	▲ 5.1
基礎利益 ①	424	433	+ 2.0
逆ざや額	▲ 402	▲ 388	▲ 3.3
危険差益	836	818	▲ 2.2
うち最低保証に係る要因 (注) ②	220	167	▲ 24.3
費差損益	▲ 9	3	—
キャピタル損益	▲ 206	▲ 86	▲ 58.0
臨時損益	9	13	+ 37.8
経常利益	228	359	+ 57.6
特別利益	0	1	+ 3,025.1
特別損失	17	70	+ 308.1
契約者配当準備金繰入額	113	121	+ 7.2
四半期純利益	83	161	+ 93.4
基礎利益(最低保証に係る要因を除く) ①－②	204	266	+ 30.4

(注) 「最低保証に係る要因」は、変額年金保険等における次の金額の合計額です。

・最低保証に係る一般勘定の責任準備金の繰入・戻入額

(平成25年度第3四半期累計期間: 173億円、平成26年度第3四半期累計期間: 121億円)

最低保証に係る一般勘定の責任準備金とは、変額年金保険等の最低保証リスクに備えて積み立てている準備金です。

最低保証に係る一般勘定の責任準備金を繰り入れた場合は基礎利益を減少させる要因に、また、最低保証に係る一般勘定の責任準備金を戻し入れた場合は基礎利益を増加させる要因になります。

・最低保証に係る保険料収入から、年金開始等に際して最低保証のためにてん補した額を控除した額

(平成25年度第3四半期累計期間: 47億円、平成26年度第3四半期累計期間: 46億円)

3. 健全性の状況

(単位:億円、%)

区 分	平成25年度末	平成26年度 第3四半期会計期間末	前年度末比
			増減額
ソルベンシー・マージン比率	648.5	775.4	+ 126.9 ポイント
実質純資産額	7,095	9,842	+ 2,746
有価証券の含み損益(一般勘定)	3,462	6,026	+ 2,563
うち その他有価証券の含み損益	1,630	2,897	+ 1,267

以上